



「ビブリオバトル」で表現力のある子どもに育てたい！

小野田小学校



ビブリオ1次・2次予選



この場面の絵が一番のおすすめです！

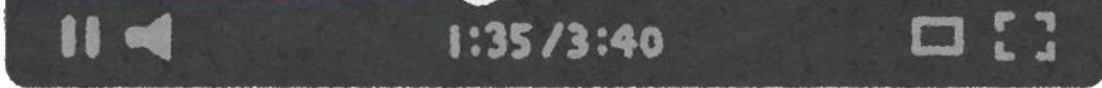
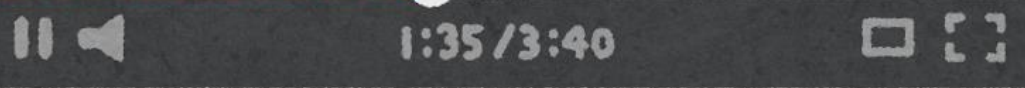
この本、ドキドキがとまらない！続きが気になるな。

ビデオ録画の審査は緊張するな。

全校チャンプ本【十年屋②】



ビブリオ本選〔録画審査〕



感染症感染防止対策の中での「ビブリオバトル」

昨年度までは、一次予選でグループチャンプ本、二次予選でクラスチャンプ本、本選はランチルームで全校チャンプ本を決めていましたが今年度は、新型コロナウイルス感染症感染防止対策として、飛沫防止パネルの設置や動画を視聴しての実施となりました。ビブリオバトルの要素を取り入れながら、「読む・考える・話す（伝える）・聞く（傾聴する）」力を育成することは、子どもたちの学びを支える力になると考えています。

ビブリオバトルで身に付けさせたい力

- 自分の思いや考えを工夫して伝えようとする力（プレゼンテーション力）
 - 話し手の意図を考えながら聞く力
 - コミュニケーション能力
- ～自分の思いや考えを自信を持って伝え、それを興味深く聞いてくれる友だちがいることで、学級経営の基盤づくりにもつながります！～



～「心をひとつに」～学級ミーティング 西郷第二中学校

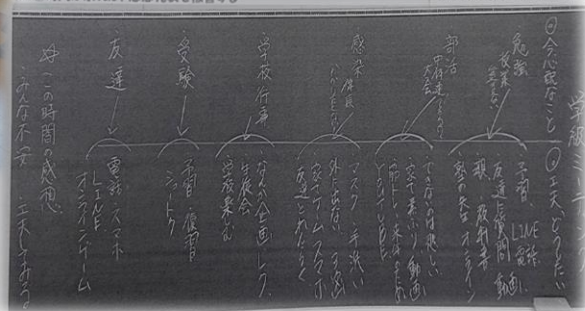


先生

西郷二中オリジナル板書計画

学級ミーティングの板書計画

- 1) コロナについての学級ミーティングなど、題名を書く
 - 2 真ん中に線を引く
 - 3 右上に「今、心配なこと」と書く
 - 4 生徒の発言をもとに、心配なことのキーワードを書いていく。(間隔をある程度あけておく)と良い
 - 5 右下に「工夫、どうしたい?」と書く
 - 6 生徒の発言をもとに、キーワードを書いていく。
 - 7 終わったら矢印を引き、くくる
 - 8 時間が余れば、感想発表を板書する
- 場合によっては、コーナーが有意義な時間になるようにご



事前に教職員も体験。まずはリラックス!(動作法)それから不安や心配なことを共有していきます。



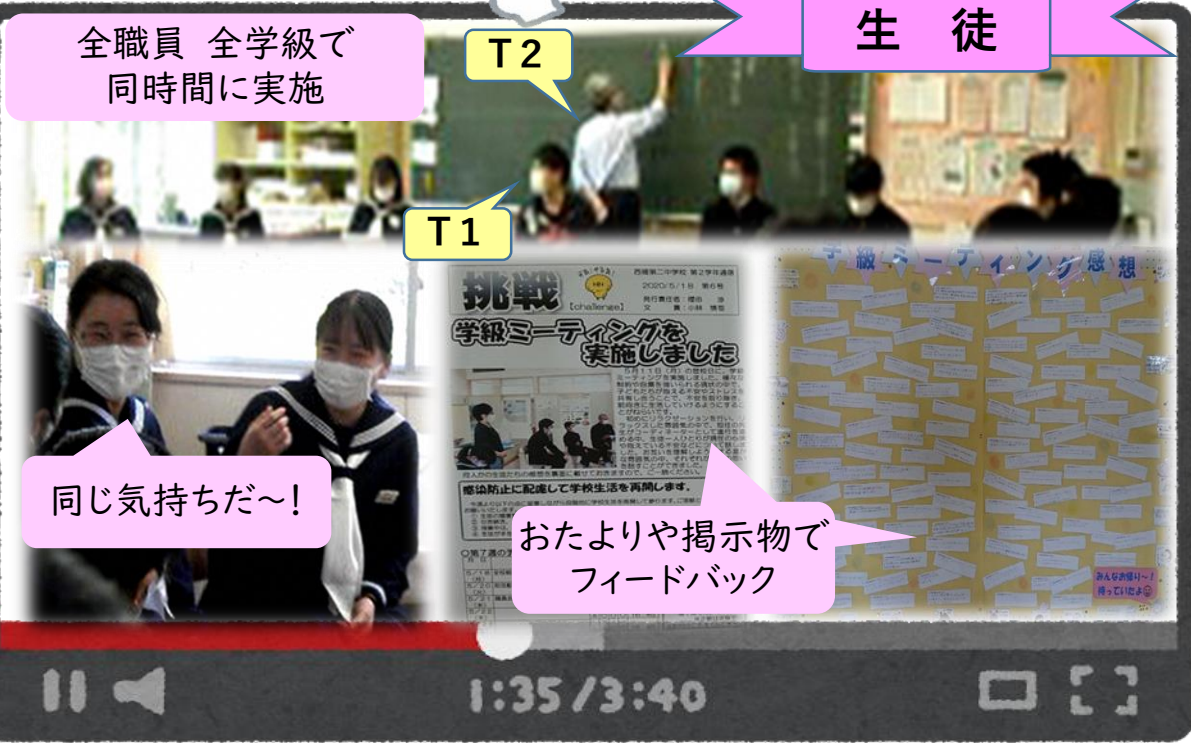
新型コロナウイルス感染症が広がる中、生活に不安を抱えた生徒たちが、安心して学習に取り組めるようにするために「学級ミーティング」を実施しました。事前に、スクールカウンセラースーパーバイザーの成井香苗先生を講師にお迎えし、教職員が学級ミーティングを体験しました。リラックスした雰囲気では一人一人の思いを話していくうちに『共感』『安心』『やる気』『一体感』を持つことができました。板書の効果についても話し合い、西郷二中のオリジナル板書計画を作成し、全職員で共通理解を図りました。

生徒

全職員 全学級で
同時に実施

T2

T1



同じ気持ちだ~!

おたよりや掲示物で
フィードバック

生徒に実施した際には、休校明けに、久しぶりに会った友達の不安や思い、改善策などを聞いて『自分だけじゃなかった。』『安心した。』『それやってみよう。』など、様々な感想を共有できました。その後、実施の様子や感想を、学年だよりや保健だよりに載せたり、昇降口前に掲示したりしました。また、「健康アンケート」の情報をもとに、学級担任は個別に生徒との関わりを深め、必要に応じてスクールカウンセラーとの連携を図りました。

中体連中止の発表があった日も、各部活動において、同じ方法を用いて思いを共有しました。今後、受験前にも実施する予定です。



新型コロナウイルス感染症対策に係る取組 ～朝の読書活動（読み聞かせ）～

泉崎村立泉崎第二小学校



臨時休業中に大型絵本を使って撮影していたものを各教室で流しています。

通常は、学級ごとに教卓の近くに集まって読み聞かせを実施していましたが、密を防ぐために大型テレビを使って全員が自分の席で視聴しました。



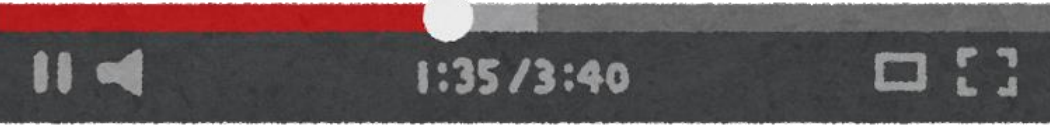
VTRを使った朝の読み聞かせ

村の司書の方をお願いしている読み聞かせの実施が難しかったため、臨時休業中に、図書館教育担当者と村の司書とで打ち合わせをし、読み聞かせの撮影を行いました。
学校再開後、教室ごとにVTRで放映することにより、密を防ぎながら読書活動を通常通り実施することができました。



教師は、表情や声がよく伝わるように、アクリル板を活用して読み聞かせをします。

テレビを活用することで、児童は、自分の席からでも、絵本を見たり、教師の読み聞かせを聞いたりすることができます。

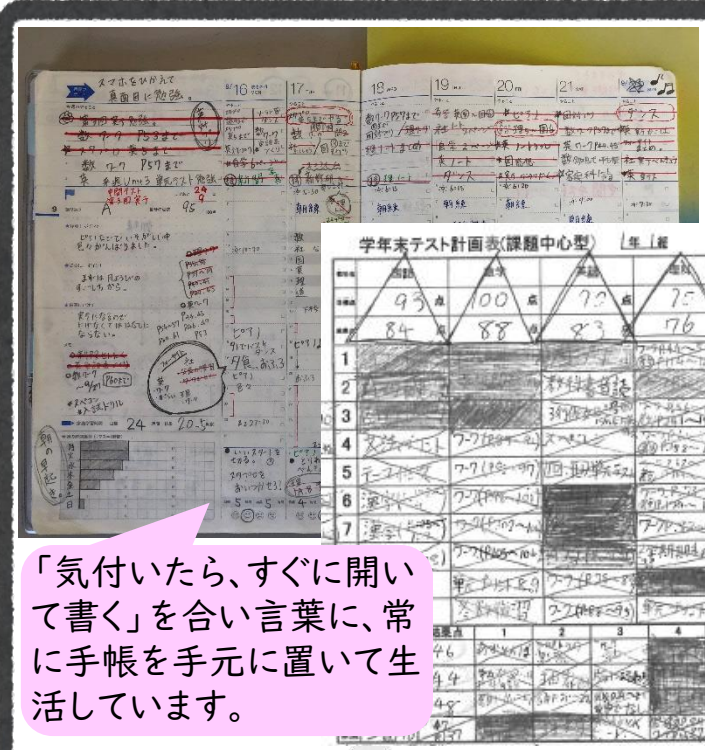


実物投影機・アクリル板を活用した読み聞かせ

2学期から図書館教育担当者が、実物投影機を使い大型テレビに絵本を映しながら読み聞かせを行っています。そうすることで、児童は、ソーシャルディスタンスを保ちながら、教師の臨場感あふれる読み聞かせを聞くことができます。児童に読書を推奨するうえで有効な取り組みであるので、今後も続けていきたいです。



自己管理型手帳で「自己マネジメント力」を育成 棚倉町立棚倉中学校



その日にやる事が「見える化」され生活や学習がスムーズに行えます。

数週間先、数ヶ月先まで逆算して計画をたて、取り組む力がついています。

やる事が多数あっても優先順位をつけて一つ一つ終わらせる達成感が味わえます。

金曜日は自己マネジメントデーとして、家庭学習の取り組み方を自己選択します。

「気付いたら、すぐに開いて書く」を合い言葉に、常に手帳を手元に置いて生活しています。



「家庭学習スタンダード」における「自己マネジメント力」の育成のために、平成29年度より全校生で活用しています。中学校での生活・学習を改善するだけでなく、社会人になった時にも活用できることをねらいとしています。休校中は、この手帳の活用により、生活リズムを維持することができました。

地域とともに、学校協働活動事業を通して 棚倉町立棚倉中学校

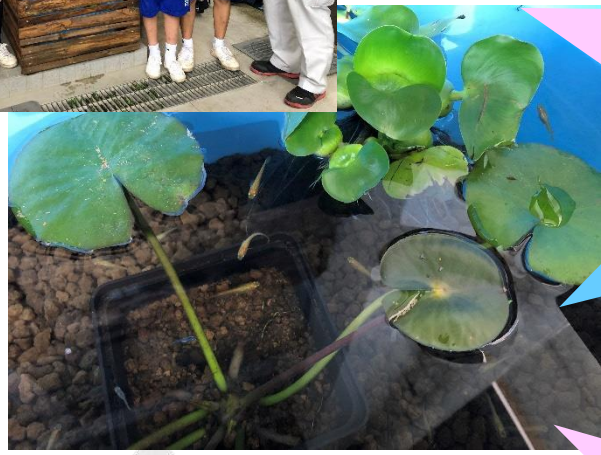


商工会よりいただいた「めだか」を育てています。地域コーディネーターの方が仲介してくださいました。

地域の方は、「めだか」を通して子ども達と接することができ、「元気をもらえる」とお話しくださいました。

地域の魅力に誇りをもち、地域との連携が深まっています。

地元の新聞に取り上げられると共に学校webでもPRをしています。



商工会の防災事業「滅大火(めだか)」や地域のPR活動「東北の小京都棚倉」とタイアップして、地域と連携しながら「めだか」を育てています。地域への愛着が深まるとともに、子ども達の自己肯定感が高まりました。



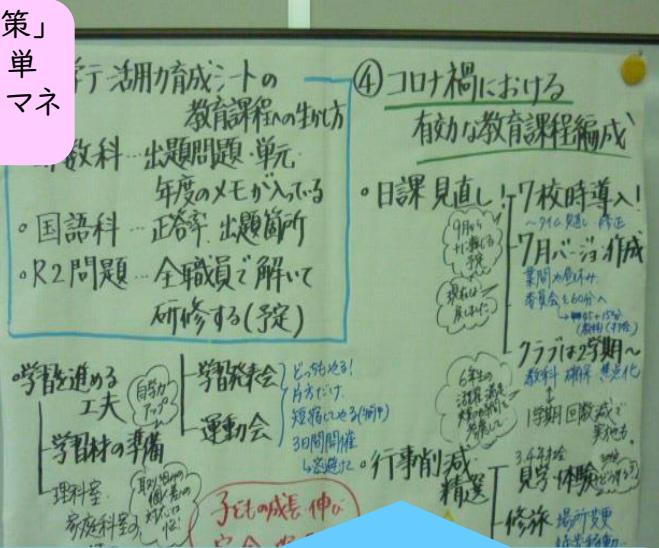
児童生徒の健やかな学びを保障するために

～教育課程研究協議会について～

県南教育事務所

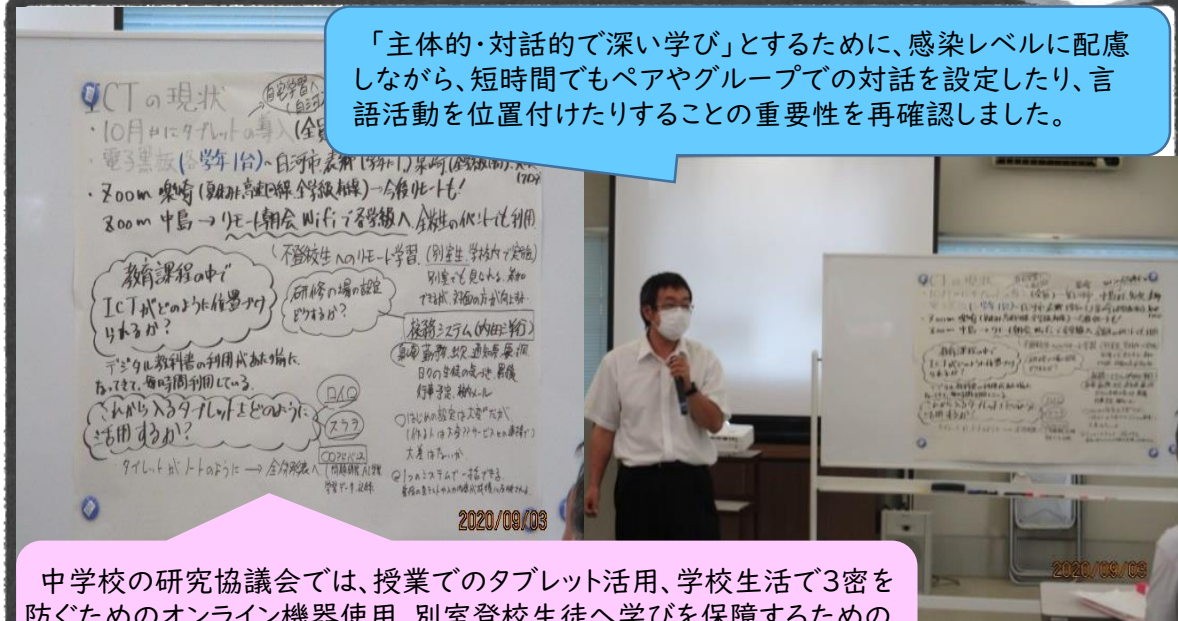


「育てたい資質・能力」や「感染防止対策」を踏まえ、学校行事の運営の工夫や精選、単元配列の工夫などについて、カリキュラム・マネジメントの視点で話し合いました。



小学校の研究協議会では、弾力的な時間割作成やクラブ活動の時間設定の工夫、家庭学習との連携を図った効果的な学習の進め方などについて、各学校と情報交換することができました。

「主体的・対話的で深い学び」とするために、感染レベルに配慮しながら、短時間でもペアやグループでの対話を設定したり、言語活動を位置付けたりすることの重要性を再確認しました。



中学校の研究協議会では、授業でのタブレット活用、学校生活で3密を防ぐためのオンライン機器使用、別室登校生徒へ学びを保障するためのリモート学習など、様々な実践が紹介されました。

教育課程研究協議会（小・中）

今年度は協議会後半に、各小・中学校の「教育課程編成上の課題や効果のあった取組」について、テーマごとに分かれグループ協議を行いました。「コロナ禍において実践した有効な教育課程編成」や「ICTを取り入れた教育活動」等について様々な実践が持ち寄られ、全体で共有することができました。

参加者からは、「コロナ禍で教育課程の変更も多く苦労したが、先生方と情報交換ができて良かった。」「自校でも取り入れられそうな取組が多くあり、次年度の教育課程編成の際に話題にしたい。」などの感想が寄せられました。